

A 青少年活動について

主にスポーツを通しての活動。少年野球大会、剣道大会等の主催。金銭的な援助だけでなく、参加し共に活動することが必要。その地区の“少年の主張”発表者を例会日にスピーカーとして迎え、中学生の考え方を知ると同時にロータリーの理解を深めてもらう。参考になるのでは……。

B I A Cの指導、育成について

群馬14に対して新潟7。受け入れ側の苦情もあるけれども、設立のために一層の努力を。

C R Y L Aプログラム参加について開催回数を増やしての希望多数。

第6分科会 国際奉仕部会 山崎勲

分科会では姉妹クラブの推進・現況・交換学生の対応などが話し合われ、姉妹クラブの現状では、新潟クラブからホンコン東クラブと姉妹クラブを結んでいるが、現在は交流がほとんどない。新潟北クラブでは韓国のカナンロータリークラブとは隔年交流している等の報告があり、交換学生については出発時高校在学中、成績は上位3分の1以内であることなどの確認で、次年度からは交換学生の派遣をしなかった場合、優先順位が最終順位にされるとの報告があり、交換学生の問題点として、日本側で受け入れてくれる学校がない等の理由で交換学生の派遣、受け入れがスムーズに行われないなどのため、532地区限定を考え直す必要があるとの説明があり、フォーラムリーダー渡辺巖一氏からロータリーはギブアンドテイクであり、これはアメリカの考え方であり、やはりギブアンドギブが本来の姿ではないか。台湾の留学生の自宅を訪問した時は我々とは比べ様のない豊かな生活をしていた。そのような者に金を出さなければならないのか、ロータリーの組織のない国的学生を受け入れることも必要ではないか等の話があり、無事終了致しました。

第7分科会 ロータリー財団部会 吉川吉彦

1. ロータリー財団について 2. 財団奨学金について 3. ポリオプラスについて

財団への理解を深めるために各テーマについて説明がありました。特に奨学金について毎年奨学生を選出するに当たり256地区より10名の選考を行っていますが、選考が他地区より少々ゆるいために知人をたよって応募されますが、これには応じられないことを前もって知っておいて下さい。また、応募の手続書類の記入に不備な点が多く、90%は再提出の要ありとのことで、注意が必要。選考内容は①書類審査②面接③語学力です。次いで、ポリオプラスについて皆様の理解が統一的になっていない面をいま一度再認識していただくために特にガバナーより説明がありました。5年間で1人40,000円(年間8,000円)で満点です。他に寄附行為に対する領収書の発行等について論議されましたが、各自の個々の問題点等の含まれる部分があることで結論は出ませんでした。ただし1万円以上の寄附(ポリオプラス 年8,000円等)をだき合せた形のものであれば領収書を発行する。

次週例会： 9月29日 クラブアッセンブリー I G F報告会

次々週例会： 10月5日 卓話 笹原勝治会員



三条北ロータリークラブ週報

ROTARIANS —— UNITED IN SERVICE —
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン —— 奉仕に結束 —— 平和に献身
国際ロータリー会長 チャールズ・C・ケラー 第256地区ガバナー 安藤文夫

例会日
1987. 9 . 22
累計 No 41
当年 No 11

会長／樋口金占

幹事／平松利朗

SAA／芦田義重

例会日／火曜日 PM12:30~1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-13-25
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

例会行事： 卓話「キャプテン・システムについて」 濱潔三条RC会員

先週のメークアップ： 8月28日 新津中央へ 山上茂夫君

9月2日 三条へ 山上茂夫君

9月9日 三条へ 羽賀一夫君 石川勝行君、米山忠俊君

9月14日 三条南へ 羽賀一夫君

9月16日 三条へ 山上茂夫君

9月20日 中条IGFへ 樋口金占君 平松利朗君 梨本清一君 高橋彰雄君
山崎勲君 吉川吉彦君 斎藤正君 笹原勝治君

出席席： 本日の出席 35名中28名

先週の出席率 35名中33名 94.29%

ヴィジター： 燕RCより 五十嵐莊一君

三条RCより 古沢富雄君 伊藤廣一君 大谷幸平君 濱潔君

三条南RCより 永桶栄資君 馬場茂夫君

会長挨拶： 樋口会長

第41回例会を開会させていただきます。本日多勢のお客様当クラブにおいて下さいましてありがとうございます。ごゆっくりしていって下さい。又卓話はNTTの濱さんよろしくお願い致します。私ども20日黒川村の胎内パークホテルでIGFの会議に出席して参りました。各委員長さん大変ご苦労さまでした。又来週の例会に発表をお願いします。全体会議があり26クラブ500名の方がIGFに行って勉強され、その後分科会で討議され1日行って参った訳です。

分区のクラブ代表が出て3ヶ月経過したことについて発表し、RIメッセージに基づいて8項目のうち5項目達成すれば会長賞がもらえると言うことですので実行する決意を述べられて全体会議が終りました。私どもも5項目達成して会長賞をもらいたいと思っております。前会長の中條さん韓国に行ってバナーの交換をして来て下さったそうです。あとでお話を願い致します。ありがとうございます。

うございました。

バナー交換報告： 前中條会長

安藤ガバナーに約束致しました海外バナー3枚以上集めることを4枚交換して参りました。韓国は台風で大変な被害があり先ずお見舞いを申し上げました。安陽で8日間滞在しましたが1日ロータリーで過しヤンさん、お薬屋さんですが訪ね、安陽中央クラブに参りました。大変な歓迎を受け会長のとなりに席を取っていただき挨拶を述べて参りました。韓国はオリンピック一色で大変街並はきれいです。又三条北クラブのバナーはすばらしいと言うことで大変ほめられて参りました。山崎さん、3枚以上集まりましたのでほっとして下さい。

幹事報告： 平松幹事

◇地区年次大会の参加者を今日中に決めたいと思います。

◇五十嵐英雄さんが今日入会を承認されました。

◇吉田RC例会日、例会場、変更（10月2日より）

新例会日 毎週金曜日（第3はPM7.00より）

新例会場 塚田町産業会館

吉田町東栄町14-12 TEL (0256) 92-2500

第3は割烹千ぐさで行います。

理事会：

◇11月7日(土)6時30分より吉田RCとの合同例会を行います。場所は橋畔楼で卓話は藤田パストガバナーにお願いしております。

◇三条南RC主催コンサートに基本的に賛成することに合意しました。

◇職業分類、会員選、会員増強委員会がリーダーシップをとって会員増強を強力に推しますのでもらいたい。

◇10月からネクタイの着用をお願いします。

◇秋の家族親睦旅行を企画いたしました。多数の参加をお待ちいたします。

日 時 昭和年10月18日 (日) AM 9.30～PM15.00

会 場 サルボアの里（下田アスレチック） 雨天の場合 嵐渓荘 服装は軽装で

登録料 大人 3,000円 子供（小学生1,000円）

内 容 アスレチック、バーベキュー、きのこ狩

集 合 商工会議所まえ

ニコニコボックス：

濱 潔君 本日はキャプテンシステムについてお話をさせて頂きます。つたない話ですが、よろしくお願いいたします。

樋口金占君 IGF出席の皆さん1日、大変ご苦労様でした。疲れ過ぎて二次会のおよびのかからなかったのが残念です。
平松利朗君

◇プログラム作成 ○○月間（重点課題）は年間6回あり、その活用。次週予告のPR。プログラム委員長の理事役員会の必出席要請。

第3分科会 職業奉仕部会 高橋彰雄

職業奉仕でわれわれは何をなし得るか。職業奉仕とは、職業を通じて社会に奉仕することをいう。先づ自分自身の為に努力し、そして他人と協調する様になり、より拡大されてくると社会的に奉仕、サービスすることが大きくなってくる。各々の職業は物質的所得の手段であるばかりではなく、地域社会に対する奉仕を実行する機会である。職業に対する三つの認識と四つの方法論により、あらゆる関係者に満足を与えるような方法で執り行わなければならない。公共性と企業性の接点を考え、大いに商売を繁昌させ利潤を追求し、拡大生産を計り地域社会に貢献すべきである。

第4分科会 社会奉仕部会 笹川勝治

白根ロータリーの木暮氏をリーダーに、A.地域社会における社会奉仕、B.RAC提唱クラブのあり方、C.高齢者問題についての3テーマに分け、リーダーの提言、各ロータリーの実践発表の順に正味1時間50分の分科会は進められた。

Aでは、1923年決議23号（通称23-34）があらためて確認され、ロータリーとしてのスタンスを維持しながらの、社会奉仕の重要性が強調され、各クラブの実践報告も「維続は力」に徹した実践であった。

Bは、日本全体で445クラブ、256地区では33クラブが取り組んでおり、三条クラブの例では、15名のメンバーは会員企業50%、その他50%の構成となっており、朝の清掃奉仕、施設の訪問をやっている。いずれも、28歳で卒業という規約をかかえ会員増強が悩みとの事。

Cは、新潟南クラブの老人ホーム慰問の例が紹介され、カラオケになったら、参加者が最初30名であったものが一挙に100名になった。施設側が「皆さん退屈されている」といった謝辞が記憶に残った。各クラブとも、模索中の印象を持った。最後に、来訪された安藤ガバナーの「全国訪問の際提言した『新しいプロジェクトに取り組む』は、予算を云々するのではなく、発想を変える=頭を働かせることであり、その事が真の活性化になる」の発言が、今後の推進のヒントになるのではと思った。

第5分科会 青少年活動部会 斎藤正

基調 次の世代を青少年に託さなければならぬ。その意味で青少年を育成するのは、我々大人の責任である。

テーマ それぞれのテーマに沿って実践、活動、反省の発表がなされた。

余裕金・満期金はひとつまず

ホーム財テクの主役

中期国債ファンド

新和証券

三条営業所 電話 (0256) 34-2151 (代表)
FAX (0256) 35-5445